

# 報告 「議会と話そう」

1月19日と25日に、意見交換会「議会と話そう」を初開催しました。

参加された皆さんから議会運営に対する意見や地域課題、行政に対する要望もいただきました。

いただいた意見や要望を今後の議会運営に生かすとともに町政に反映させる取り組みを行っていきます。



2023.1.19 東園地域センター

## 1/19 東園地域センター 町民 11名・議員 8名参加



1班  
進行：安藤 裕子  
記録：植西 浩一

### 議員の感想

議会と町民の懇談の場が初めて設けられ、多くの意見が寄せられました。その中には、この懇談の場がもっと設けられることを望む声や議会とはどのような機能を持っているのか、どのような権限があるのか、そしてどのように個々の議員は活動しているのかなど日ごろ抱いている疑問を投げかけられ、一つひとつ丁寧に答えました。

時間が限られている中、要望も一部出されましたが、何よりも議会や行政からの発信が不足していて、今よりももっと詳しく施策の決定プロセスを知らせてほしいといった意見もありました。

私たち議員は、町民からどのようなことを聞かれても誠実に丁寧に、その決定について話しをする必要があると改めて感じました。

この懇談はこれからも続けていく所存です。また、より良いものにし、より町民の声が伝わる懇談となるよう時間・開催日程などを工夫する必要があると感じました。(植西)



2班  
進行：谷口 雅浩  
記録：遠藤ハル子

### 参加者からの意見

2班には東園地区の住民が参加してくれ、なごやかで笑いの絶えない話しあいことができました。

はじめに「議会の役割とは何か」との問いに、参加者からは「国からの施策を、町の予算の適切な執行に対し議決する機関である」「地域の活性化や、誰も

が住みやすい町は最低限の権利であるから、過疎化問題に取り組んでほしい」などと、議会を良く理解してくれていました。

また、「議員と仕事の両立について」は、「議員は魅力がなくなったのではない」「何をしたいと思っているのか分からない人もいる」という厳しい意見、「何かを犠牲にしなければならない。報酬・仕事・家庭などで割に合うか考えると、次期も立候補できるだろうかと考えてしまうのではないかなど率直な意見も出されました。

それから「議員定数も9人でいいのか。少ないのか・多いのか」と活発な議論がされ、次回も開催してほしいとの声が多くありました。(遠藤)



2班  
進行：谷口 雅浩  
記録：遠藤ハル子

### 参加者からの意見

「議会の役割は」のテーマでは、「住民と議会をつなぐリーダーであり、住民の代弁者である」「本会議制度にして議会の活発な討議を傍聴者にも聞かせてほしい」などの活発な意見が続きました。

また、「議会は年4回あるが、ないときは仕事をしていないのではない」「人口が減少しているが、良佳村再開発を考えてはどうか」「イベントのマンネリ化もあるのではない」「米やイチゴをユーチューブでPR発信してはどうか」など、まちづくりへの提言もありました。「議員のなり手不足は報酬が低いのではないかと報酬を上げてはどうか」などの提案もありました。

ここでも、直接議会と話せる場は大事なので「次回も開催してほしい」との声が上がりました。(遠藤)

### 参加者アンケートより (回答 19人)

■感想は？		■次回は？	
すごく良かった	11	また参加したい	15
良かった	7	わからない	4
普通	1		



3班  
進行：大熊 勝幸  
記録：澁谷 興二

### 参加者の意見と議員の感想

3班では、はじめに「議会改革とは何を改革しているのか」という質問がありました。その問いに対し、「より良い議会運営をすることを目的に議論している」ことを伝え、町民が議会に興味を持ってもらえるよう現在行っている議員報酬やインターネット配信、会議のペーパーレス化などの協議について、話し合いの経過をお知らせしました。

また、町のことに對して議会がもっと提案をし、議論を深めてほしいという要望や、人口減少問題にも触れ、比布町はゆるやかに減少しているものの、企業誘致をするなどして若者を呼び込むような方法を模索し、比布の未来がより良い町になるよう魅力を作っていくと厳しい意見もありました。日々、調査研究をして進めていく必要があると思います。

議員報酬を上げて、なり手は増えるのか。報酬の他にも政務活動費の支給をして、議員活動の報告を発信してほしいなど議会と議員の情報が見える化しながら、議会の役割を示し、町民とともにまちづくりを進めていく必要があると感じました。

(大熊)

## 1/25 福祉会館 町民 9名・議員 7名参加



2023.1.25 福祉会館

### 参加者の声

議会の活性化につながる有意義な時間だったと思います。発信を充実させて、町民が興味を持てる議会になってほしいです。

議員の活動報告をもっと町民に知らせてほしいです。参加者の話を聞くというスタイルよりも、各議員の考え、取組姿勢、理想を語ってもらいたかった。



1班  
進行：今井 明信  
記録：安藤 裕子

### 参加者の意見と議員の感想

議員の役割は行政側の提案を精査し、具現化することではあるが、行政側のイエスマンになってほしくない。他の自治体よりは意見をすい上げられやすい比布町だと思うので、住民が良いと思うまちづくりを実現してほしい。

議員と仕事の両立については、今の報酬では無理だし、夜に会議を開くようにしないと手は出ないと思うとの意見がありました。

また、子ども達が将来帰ってこられる町にしてほしい。発信力の弱さ、町としてのビジョンが見えない。いちごの町として1年中楽しめる企画を立ててほしい。スキー場、キャンプ場は町営としては限界があると思うので、高くても良いから付加価値を付けてオンリーワンの施設で楽しませるアイデアを考えてほしいという観光施設に対する意見もありました。

旧中学校の今後やヴォレアスとの関係、子どもも少なくバレエ部もない中、町としてどう思っているのか。夢をかなえるにはどうすれば実現できるのか考えるべき等々、書ききれない程のご意見がありました。(安藤)

少人数での意見交換だったので堅苦しくなく、気軽に話ができました。あっという間に時間が過ぎてしまったので、また開催してほしいです。

いろいろな話を聞くことができたので、よかったです。やっぱり直接「話す」ことが大切だと思います。また参加したいです！

